

# NTTのIPネットワークの成長と世界への広がり

IP Network: Geographical expansion, and the road to obtain the leading provider status in the industry

## アジア初のTier-1 ISPネットワークを傘下に収め、世界的な『ワンネットワーク』を構築

1997年11月、NTT国際通信株式会社が「Arcstar IPバックボーンサービス」(AS7515)をスタートしました。当初は日本と米国の西海岸との間を45Mbpsで接続する構成でした。その後ネットワークは順調に拡大し、米国(1998年)、大阪およびアジアの5カ国(韓国、香港、台湾、シンガポール、オーストラリア)(2000年)にPOP(Point Of Presence)の拡張を行いました。また、ISPの頂点であるTier-1(インターネットの中心的な役割を担うISP)を目指して、当時新興ISPであった米国のVerio社(AS2914)を2000年9月に買収し、アジアで初めてTier-1 ISPのネットワークを傘下におさめました。その後、ロンドン、フランクフルト、アムステルダム等にもPOPを構築し、世界的な『ワンネットワーク』、「NTT/VERIO IP Backbone Network」(後に、GINに名称変更)が完成しました。

また、サービス内容の多角化を図り、2000年4月に「Arcstar Smart Content Delivery(SCD)サービス」、2001年4月に世界初「IPv6ゲートウェイサービス」、2001年11月にSLA(品質保証制度)を開始しました。

2012年、日米間回線の帯域は630Gbpsに達しています。

AS : Autonomous System  
ISP : Internet Service Provider  
GIN : Global IP Network  
SLA : Service Level Agreement

Global IP Backbone Network  
(2012年)

